

## 特集

# 中期計画スローガンをカタチにするために

## ① Restart!

ちょうど1年前、この特集ページに「中期計画スローガンを各事業に落とし込む」というタイトルで記事を掲載しました。中期計画スローガンとは、2016年の自社ビル建設・移転を経て、2020年からの5年間について、私たちはどんな社会像を描き、どう事業計画を立てるのかに関する「指標」となる考え方でした。作業にあたっては、理事、職員、親の会、ボランティアなどのステークホルダーと共に数回の勉強会を開き、中身の濃い議論を重ねてきました。そしてその結果、下記のスローガンが作られました。

知ろうあなたを  
みとめようありのままを  
つなげよう未来に

泣いておこって笑って  
助け合い 一緒に歩む

楽しさを創り  
みんなが  
集まる場所…ぱれっと

1年前の特集では、プロローグとしてこのスローガンに込められた想いを改めて解説、ぱれっとが展開する各事業にどう反映させていくかという問いかけを行ないました。

しかしその直後に、日本のみならず世界を巻き

2020年1月、ぱれっとの事業のこれからを描く上で重要な「中期計画スローガン」が完成しました。直後の新型コロナウイルス感染拡大の対応により、その先の作業が滞っていましたが、次号より特集を組み、再開します。

私たちぱれっとの活動も大きな影響を受け、変化を余儀なくされてしまいました。たまり場ぱれっとは半年間に及ぶ全面活動休止、おかし屋ぱれっとは売上の減少、自宅待機や分散通所、えびす・ぱれっととホームでは外出自粛による日中対応の増加、ぱれっとインターナショナル・ジャパンは研修企画の延期など、目先の案件やその対応に追われることとなり、中期計画スローガンを形にする議論はひとまず棚上げするほかありませんでした。現在ワクチンの供給を含めて、事態は少しずつ収拾に向かっていると思いますが、具体的な見通しはまだ立ちません。

しかし、そのような中でも中期計画、ビジョンを描く私たちの作業を、これ以上ストップさせているわけにはいきません。この間も、多くの皆様からご寄付を含めてご支援をいただいております。また、たまり場ぱれっとを始め、ボランティアを希望される方も増えています。ぱれっとの理念でもある「人と人との出会い、新たな可能性を生み出す」という流れは、確実に続いていると思います。つうしんの特集では、1年間のブランクを経て

再度、皆で考えた中期計画スローガンに基づく各事業の課題整理、5年後を見据えたビジョンを描く作業を次号よりスタートします。そのプロセスでは皆様にもご意見を伺うことがあると思います。ご協力をよろしくお願いいたします。(事務局長 南山達郎)